

いわて復興だより

がんばろう!岩手 つなごう!岩手
第179号
令和3年11月号



三陸復興

平成23年3月11日に東日本大震災津波が発生しました。発災以来、国内外から多くの温かい励ましや御支援をいただいております。心から感謝申し上げ、この「つながり」を大切に、復興のステージを更に前に進めていく岩手県の今を紹介します。

開催

令和3年度第2回いわて復興未来塾開催

陸前高田市
RIKUZENTAKATA

令和3年11月27日(土)、「震災10年～ふるさと岩手・三陸の創造～」をテーマに、令和3年度第2回いわて復興未来塾が陸前高田市民文化会館で開催され、約80名が参加しました。

基調講演として、株式会社東海新報社(大船渡市)の代表取締役・鈴木英里さんは、地元紙から見た10年の復興の歩みを写真や記事で振り返り、地域全体で子どもを育てる気仙の風土と全国からの支援が、震災後の子どもの成長や活躍、地域への優しさにつながったこと、また、地元紙の役割と今後の報道への決意を述べました。

その後、株式会社八木澤商店(陸前高田市)の取締役会長・河野和義さんと株式会社高田自動車学校(陸前高田市)の取締役会長・田村満さんにより、岩手県中小企業家同友会(盛岡市)常任理事・事務局長の菊田哲さんを聞き手に、座談会が行われました。座談会では、発災直後の動きを振り返りながら、全国の中小企業の連携と人とのつながりの大切さや社員を守る地元中小企業の役割などが語られました。また、陸前高田発酵パーク CAMOCY(カモシー)を核とした、若者による地域の魅力の発掘と磨き上げの取組や、地域の発酵文化を活かし、幅広い世代が活躍する地域づくりへの期待が述べられました。

知事からは、「震災から10年が経過し、今だからこそ語ることができることも多い。原点に立ち返り、一つ一つ丁寧に伝承・発信していきたい。」とコメントがありました。

未来塾の様子は、12月中旬に動画サイトで配信予定ですので、ぜひご覧ください。

■問い合わせ 岩手県復興防災部復興推進課

☎ 019-629-6945



基調講演の様子



座談会の様子

動画配信サイトはこちら➡



開催

第6回防災推進国民大会(ぼうさいこくたい2021)開催

釜石市
KAMAISHI

令和3年11月6日(土)と7日(日)の2日間、釜石市で、防災推進国民大会2021実行委員会(内閣府等により構成)主催により第6回防災推進国民大会(ぼうさいこくたい2021)が開催され、約5,800名が釜石市を訪れました。

防災推進国民大会は、国民全体の防災意識向上を目的に実施されているもので、6回目となる今大会は「～震災から10年～つながりが創る復興と防災力」をテーマに開催されました。

大会には、県内外の復興や防災に携わる方々が、オンラインや現地で参加し、防災・減災に関する幅広いテーマについて語るセッションや災害時の対応などについて学ぶワークショップ、復興の歩みや団体企業の活動を紹介するブース展示、地震体験車等の屋外展示など、様々なプログラムが実施されました。

セッションでは、「防災には全員参加の意識を持つことが大切」などの意見が挙げられ、参加者は防災について意識を高めるとともに、学んだことを次世代につなげることを決意しました。

■問い合わせ 岩手県ふるさと振興部県北・沿岸振興室

☎ 019-629-6222

公式ホームページはこちら➡



セッションの様子



ブース展示の様子

開催

三陸国際ガストロノミー会議
2021「食」のキャラバン開催久慈市・洋野町
KUJI・HIRONO

南部もぐり見学の様子

令和3年10月24日(日)、岩手県では、「食」を生かした三陸地域の振興を目的に、久慈市と洋野町で、食のジャーナリストや県内で活躍するシェフ等と生産者が交流する「食」のキャラバンを開催し、約20名が参加しました。

このキャラバンでは、ガストロノミー(美食術・食文化)の観点から、いわて短角牛の牛舎、木炭製造や原木シイタケのほだ場などの見学のほか、三陸食材を使った郷土料理の提供や、南部もぐり等についての講話などが行われました。

参加者は、生産者から三陸食材の由来や美味しさの秘密等のストーリーを学び、「三陸の食材だけで弁当ができていく」と三陸の食の豊かさについて認識を深めました。

■問い合わせ 岩手県農林水産部流通課
☎ 019-629-5732

更新

いわて復興インデックス&
社会資本の復旧・復興ロードマップ公開沿岸
COASTAL

岩手県では、いわての復興の現状や進捗状況を分かりやすくお伝えする「いわて復興インデックス」(基準日9月30日)と、社会資本の整備状況をお伝えする「社会資本の復旧・復興ロードマップ」(基準日9月30日)を令和3年11月8日(月)に公開しました。

このうち、復興インデックスでは、「なりわいの再生」において、主要魚種の不漁対策として、久慈、宮古、大槌、釜石地区で新たに取り組んでいる海面養殖について、令和3年度の水揚げが569トンとなるなど、順調に推移している状況を紹介しています。

ロードマップについては、復旧・復興事業について、前回公表時点(令和3年3月31日)から新たに3箇所が完成し、全体789箇所のうち757箇所(95.9%)が完成したことを紹介しています。このうち、海岸保全施設では、陸前高田市の脇之沢漁港海岸防潮堤が完成し、市町村が実施する防潮堤工事はすべて完了しました。



脇之沢漁港海岸防潮堤(写真提供:陸前高田市)

■問い合わせ 岩手県復興防災部復興推進課

☎ 019-629-6935



インデックスについてはこちらから➡

➡ロードマップについてはこちらから



世界へ、未来へ いわてTSUNAMIメモリアル

東日本大震災津波の事実と教訓を伝える施設「東日本大震災津波伝承館」(いわてTSUNAMI(つなみ)メモリアル)を紹介します。

令和3年11月5日(金)、高田松原津波復興祈念公園では、地震による津波を想定した避難訓練を実施しました。

「津波防災の日(世界津波の日)」であるこの日の訓練は、公園内に多くの来場者がいる時の避難誘導の確認を目的に、伝承館を含む公園施設関係者が合同で実施したもので、伝承館を見学中の小中学生ら約400名が参加しました。

訓練放送が流れると、各施設の職員は、参加者に頭を抱えるなど身の安全の確保を呼び掛けた後、屋外の一時避難場所へ誘導しました。参加者は真剣な表情で訓練に臨み、約5分で避難が完了しました。

公園内での避難訓練終了後、約30名の関係機関の職員らは、負傷者がいる想定で陸前高田市の指定避難場所の気仙小学校まで避難経路を確認しながら徒歩で移動し、その後、避難誘導時の対応や反省点について意見交換を行いました。

参加者らは、意見交換などを通じて、来園者が安心して避難できるよう有事の際の対応を確認し合うことの大切さや、災害に対する日頃の備え、訓練の重要性を共有しました。

■問い合わせ 東日本大震災津波伝承館 ☎ 0192-47-4455



津波避難訓練の様子(写真提供:東海新報社)



意見交換会の様子

開催

いわて日本酒& うまいものフェア開催

愛知県
AICHI

フェアの様子

令和3年11月3日(水)から7日(日)まで、岩手県名古屋事務所では、愛知県岡崎市東岡崎駅前で、復興を応援する「いわて日本酒&うまいものフェア」を開催しました。

会場では、岩手県内の日本酒といちご煮やサバ缶など特産品約100種類を販売し、朝から大勢の人がフェアを訪れました。地ビールや帆立らーめん、牡蠣の佃煮などに人気が集まり、「色々買うことで、復興に協力できれば」と、かご一杯購入する方もいました。

■問い合わせ 岩手県名古屋事務所
☎ 052-252-2412

開催

いわて・かまいしラグビー メモリアルイベント開催

釜石市
KAMAISHI

令和3年11月14日(日)、釜石鵜住居復興スタジアムで、「いわて・かまいしラグビーメモリアルイベント」が開催されました。

このイベントは、ラグビーワールドカップ2019岩手・釜石開催のレガシーを継承し、その熱気や感動を振り返り、ラグビーの人気や魅力、価値の再認識することを目的に開催されたものです。

メモリアルマッチでは、ともに震災被災地の復興を後押ししてきたコベルコ神戸スティーラーズと釜石シーウェイブスの対戦が実現し、好ゲームが展開されました。

3年前に釜石鵜住居復興スタジアムの柿落で釜石東中学校の生徒と一緒に歌を披露した平原綾香さんも出演したこのメモリアルイベントを通じて、東日本大震災津波からの復興支援に対する感謝と、復興に取り組む姿を国内外に改めて発信しました。

来場した方々は、「ワクワクして楽しかった、今後も岩手・釜石を忘れないようなイベントをしてほしい」と2年前のラグビーワールドカップ岩手・釜石開催の熱気と感動を思い出しながら試合を楽しんでいました。

■問い合わせ 文化スポーツ部オリンピック・パラリンピック推進室
☎ 019-629-6798



メモリアルマッチの様子



さんりくイベント情報

三陸山田かき小屋オープン

山田町
YAMADA

栄養豊富で澄んだ水が循環している山田湾で育った牡蠣は、嫌味のない旨味がギュッと詰まっています。かき小屋では、山田湾を眺めながら、絶品の山田の牡蠣をご賞味ください!



開催時期 食べ放題プランは令和4年5月31日(火)まで ※6~7月は別プランで提供

営業時間 午前11:00~午後3:00

定休日 水・木曜日(祝日の場合は営業)

提供プラン

基本プラン40分食べ放題

(大人3,500円 小学生2,500円)

ゆったりプラン60分食べ放題(4,500円)

ちょっとだけプラン20分(1,500円)

その他貝盛りミックスや単品メニューがあります。

予約 ご来店の前に必ず山田町観光協会までご予約ください。

●問い合わせ

山田町観光協会(水曜日定休)

☎0193-65-7901(受付時間午前9:00~午後5:00)



宮古の真鰯グルメフェア& 宮古真鰯まつり開催

宮古市
MIYAKO

岩手県では12月1日(水)から、本州一の産地である宮古の真鰯を宮古市や近隣のお店で食べられる「宮古の真鰯グルメフェア」を開催します。また、宮古市では1月23日(日)に、真鰯をはじめ地元の農林水産物をPRするために「宮古真鰯まつり」を開催します。産地ならではの真鰯の刺身をはじめ、多彩な真鰯料理を是非この機会に足を運んでいただき、ご賞味ください!

【宮古の真鰯グルメフェア】

開催期間 令和3年12月1日(水)から
令和4年1月31日(月)

開催場所 宮古市23店舗・山田町2店舗・岩泉町1店舗
参加店舗 MAP はこちらから↓

【宮古真鰯まつり】

開催期間 令和4年1月23日(日)
午前10:00~午後2:00

開催場所 宮古市魚市場特設会場

●問い合わせ

岩手県沿岸広域振興局水産部宮古水産振興センター(真鰯グルメフェア)

☎0193-64-2216

宮古真鰯まつり実行委員会(真鰯まつり)

☎0193-68-9099





御蔵山復興 記念公園

震災津波の脅威と山田町の復興の歩みを後世に伝えます。



↑震災ガイド & まち歩きについてはこちら

山田町八幡町内の高台（通称：御蔵山^{おくらやま}）は、震災時には住民の避難場所となりました。現在では、東日本大震災津波慰霊碑と被災した陸中山田駅の大時計、鎮魂と希望の鐘が設置されています。また、現地では、「震災ガイド & まち歩き」により山田の街の現状や震災当時の状況、災害時の避難等経験を踏まえた防災などを知ることができます。

開催期間 通年 **所要時間** 60分～（ご希望に応じてコースを作ります）
料金 2時間まで5,000円（ガイド1名の場合）

※延長1時間ごとに1,000円追加 ※ガイド1名につき約20名まで（20名以上は複数のガイドで対応します）※教育旅行の場合、料金が異なりますので、山田町観光協会までお問い合わせください。

予約 催行日7日前まで

■問い合わせ

御蔵山復興記念公園に関する問い合わせ 山田町政策企画課 ☎ 0193-82-3111
震災ガイド & まち歩きに関する問い合わせ 山田町観光協会 ☎ 0193-65-7901



鎮魂と希望の鐘（写真提供：山田町）



震災ガイド & まち歩きの様子（写真提供：山田町観光協会）



いわてさんりくびと

連載「いわてさんりくびと」では、被災地・三陸の復興に向け、熱い想いをもち、活躍する方々を紹介しします。第125回は佐々木陽代さんをご紹介します。



～ キツイ時こそ『チャレンジ』～

PROFILE

大船渡市出身。大船渡高校を卒業し、宮城県内の大学に進学。卒業後、花巻市内の温泉旅館での修業期間を経て、代表の母と共に「大船渡インターホテル椿」のオープンに携わる。現在はマネージャーとしてホテルの運営から館内装飾、広報まで精力的に取り組む。

震災をきっかけに継ぐことを決心

佐々木陽代さんは、大船渡市で曾祖母の代から続く旅館の家系に育ち、大学4年の卒業式の一週間程前に震災が起こりました。

「母は震災で建物が流されているのを見て、次はどうしようと思っていました。曾祖母もチリ地震津波の時すぐに従業員を受け入れ再建していました。震災前は、旅館でも自宅でも忙しくしている母と一緒に働こうとは考えませんでした。」「新しく始めよう」という母の言葉を聞いて、一緒に働くことを決めました」と佐々木さんは言います。

海のそばから山側に場所を移し、ホテル名も「海風苑」から「大船渡インターホテル椿」に変えました。

「椿は大船渡市の花であり、それをホテル名にするプレッシャーもあり

りましたが、逆に『後に引けない』という覚悟につながりました」と佐々木さんは語ります。

地元の方々にも親しまれるホテルに

佐々木さんは、平成30年から任意団体「LOVE 大船渡プロジェクト実行委員会」の実行委員長として、「漁火イルミネーション」などを開催し、ホテル業務の傍ら、地域の活動にも取り組んでいます。現在はコロナの影響もあり、ホテル業に力を入れています。

「『美と健康』を打ち出していきたいと思い、酸素ルームの準備を進めています。また、ミニコンサートやプリザーブドフラワー教室を開くことで、地元の方々にも気軽に利用していただけたら」と、佐々木さんは新しい風を吹かせようと挑戦しています。

岩手県の被害状況

令和3年10月31日現在

- 人的被害 死者：5,145人（余震、震災関連死を含む）
行方不明者：1,111人
- 建物被害（住家のみ、全半壊）26,079棟
被害状況等の詳細／義援金・寄附金の募集等

いわて防災情報ポータル

検索

皆様のご支援、ありがとうございます

令和3年10月31日現在

- 義援金受付状況 約188億716万円(98,323件)
 - 寄附金受付状況 約202億6,807万円(11,704件)
 - いわての学び希望基金(*)受付状況 約104億1,974万円(26,002件)
- ※被災した子どもたちが勉強やスポーツ等に励めるよう「くらし」「まなび」の支援に使われます。



いわて震災津波アーカイブ～希望～

約24万点の資料を検索・閲覧できます。

いわて震災津波アーカイブ

検索



いわて復興だより 第179号

令和3年11月30日発行 企画・発行／岩手県復興防災部復興推進課 ☎019-629-6945 編集・印刷／永代印刷株式会社

次回は令和3年12月27日の発行を予定しています。